

保護者様

我孫子市立根戸小学校
校長 水戸 勝英

令和4年度 学校教育活動(児童・保護者・教職員)アンケート集計結果のお知らせ

向春の候、皆様には益々ご健勝でお過ごしのことと存じます。

さて、2学期末に実施しました教育活動アンケート(保護者・児童・教職員)の集計結果がまとまりましたのでお知らせいたします。また、自由記述欄には温かい感謝の言葉をたくさんいただき、今後の励みとなりました。一方で、具体的なご意見やご要望等も数多くいただきましたので、今後の学校運営の参考にさせていただきます。

なお、アンケートの全ての項目について集計結果をお知らせしたいところですが、紙面の都合上いくつか絞って考察させていただきました。全項目の集計結果と学校評議員による第三者評価につきましては、本校のホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。なお、今年度から児童の学校評価は一人一台タブレットを使用しての回答、保護者は家庭でインターネットを使用しての回答として実施しました。

1. 各アンケート集計結果の分析(数値は%)

① 保護者対象のアンケート結果から全般的な満足度について

学校の教育活動に満足である	92%	教育目標を知っている	93%
---------------	-----	------------	-----

学校に対する満足度については、「あてはまる」「概ねあてはまる」の合計回答が92%となり、昨年度と同じ割合となりました。一方で、まだ8%の方が満足していない状況があるので、ご意見を真摯に受け止め、更に学校教育を充実させていきたいと思っております。

これ以降の分析については、「あてはまる・概ねあてはまる・あまりあてはまらない・あてはまらない」の4つの観点のうち「あてはまる」と「概ね～」の合計値を児童・教職員もほぼ同様な質問項目の合計値と比較して分析しました。

② 学習面(「/」は調査未実施項目)

評価項目	児童	保護者	教職員
基礎学力が身についている	/	93%	100%
授業はわかりやすく楽しい	88%	84%	/
行事や体験活動などに楽しく参加している	96%	98%	97%

基礎学力について保護者の回答及び教職員の回答双方で高い数値を示しました。また、児童全体としては6年生の全国学力学習状況調査や標準学力調査においても全国平均・県平均を上回っています。一方、コロナウイルス感染症対策を行ったうえで、できる限りの行事や体験活動を実施してきました。体験活動は人間関係や学力の礎となるものであると考えて、引き続き事前・事後の学習を充実させ、生きる力の育成に努めていきます。

③生活面(「/」は調査未実施項目)

評価項目	児童	保護者	教職員
毎日楽しく学校へ通っている	89%	91%	97%
他人への思いやりが育っている	92%	97%	78%
家庭、地域で進んで挨拶をしている	86%	78%	59%
きまりを守ろうとしている	95%	95%	97%
学校はさまざまなことで相談できる機会がある	94%	84%	88%
給食をおいしく食べている	85%	95%	100%
日頃からまじめに清掃に取り組んでいる	94%	/	81%
日頃からてきぱき行動している	96%	/	84%

挨拶については児童・保護者・教職員の間で、かなりの認識のずれがあります。児童は、「あいさつは大切」という意識はあるのだと感じます。日常生活の中で児童自身が挨拶をする人に気づけたときはあいさつしていますが、無意識に挨拶していないことがあるようです。そのため、客観的に見ている教職員との意識にずれがあるのだらうと感じます。挨拶を意識するとともに、挨拶をして心も相手に向けていこうという意識も伝えていきたいと思えます。

学校では定期的に相談する機会を設けています。また、学校には「相談の窓口」があることも全校朝礼等で伝えていきます。コロナ禍で様々な行動が制限される中、子どもたちも心の悩みを抱えている子ども少なくありません。教職員全体で子どもたちに対応できるように、教育相談を続けていきます。

④学校・教職員に関して（「/」は調査未実施項目）

評価項目	児童	保護者
子どもは認められ理解されている	91%	93%
児童一人ひとりにきめ細やかな指導をしている	96%	84%
児童の問題行動等の指導に積極的に取り組んでいる	96%	87%
学校は授業参観や懇談会を通して保護者と情報を共有している	/	87%
教育活動の内容をHPや配付物で情報発信している	/	91%
学校は豊かな人間関係づくりを推進している	/	91%

きめ細やかな指導について、児童が教職員によく関わっていることがうかがえます。しかし、保護者にはその様子が伝わっていないこともあるので、保護者からも気軽に相談できるようにするため引き続き学校の様子を伝える努力が必要だと考えます。

授業参観や懇談会など、実施時期を考慮しながら様々な方法で実施してきましたが、ICT機器の調節で様々なトラブルもあり保護者の方々にもご不便をおかけしたことがありました。一方、オンライン授業やオンライン懇談会だけでなく、保護者の方と直接会ったり話したりしながらコミュニケーションをとることの重要性を認識しているところでもあります。ICTの使用だけでなく、保護者と直接会う機会を大切にしながら情報共有の在り方を今後も模索していきます。

⑤その他の「児童アンケート」の結果から主なもの

評価項目	児童
本を読むことが好き	79%
係活動に意欲的に取り組んでいる	84%
授業中に思ったことや考えたことを発表できる	65%
宿題・家庭学習にしっかりと取り組んでいる	93%
学習道具の忘れ物をしない	88%
自分が間違えたときは素直にあやまることができる	93%

授業中に思ったことや考えたことを発表できることについては、活動方法に制限がかかる中、話し合い活動を少人数で実施してきました。しかし、マスクで相手の口が見えなかったり声がこもってしまったりしてしまう中で十分に実施できたとは言えないと思えます。少しずつ、自分の考えを発表できる機会を増やしていきましたが今後もできる限り個々で考える時間を確保し、学びを深められるような手立てを考えて、話しやすい雰囲気づくりを進めていくことに努めていきます。

【終わりに】

今年度は、昨年度の教育活動を振り返りながら、学校の教育活動をできる範囲で積極的に行っていた1年でした。社会状況の見通しが見えない中、校外学習の延期や変更、行事の変更など保護者の皆様にご理解とご協力をいただくことが多くありました。保護者の方の自由記述の中にもコロナ禍で様々な制限がある中、各家庭で様々な考えがあり、要望も千差万別がありました。タブレットを使った授業に関しては、教室内では学年に応じて、多様に活用してきましたがオンライン授業や懇談会などでは、まだまだ課題が多く十分な活用とまではいきませんでした。教職員に対しては、数々のご指摘をいただいた一方、励ましのお言葉もいただいたことは、児童にとってできる限りの教育活動を行うために試行錯誤している教職員にとって、大変励みになりました。いただいたご意見を真摯に受け止めて子どもたち良き成長のために、このような時代だからこそひとつひとつの教育活動を大切にしていきたいと考えています。また、学校、保護者、地域の密接な関りがこれからの将来を担う子どもたちの成長につながることをできるように、今回の学校評価を礎に更に努力していきたいと思えます。

学校関係者評価

(3月1日の学校評議員会議において評議員の方々に評価していただいた)

①評価結果 【評定】 4 (たいへん良い)、3 (良い)、2 (もう少し)、1 (要努力)

項目	内容	評定平均値
評価項目の妥当性	評価項目は、学校の問題点を改善していくものと、学校の良さを更に伸ばしていくものとのバランスが取れている。	3.8
評価の体制	校長を中心に教職員が参画して、学校全体で組織的な自己評価が行われている。	4.0
評価の客観性	自己評価の4段階評価の評価結果は、評価基準に照らして妥当である。	4.0

②学校への意見や提言

<R3年度>

- ・ コロナ禍で先生方も大変だったと思うがベストを尽くされたと思う。
- ・ 児童、保護者の学校評価の中で「あまり当てはまらない」「まったく当てはまらない」などがごくわずかにあるが、そのような意見にも大切に気を配ってください。
- ・ 商業施設ができると歩道を車が横断することになるので安全に十分に注意してください。
- ・ 根戸小学校では、基礎学力の達成項目が素晴らしい。すでに達成されている目標は項目から精選し、達成率の低い項目に重点的に取り組んだほうが良いと思う。体験活動の充実が学校に求められていると感じる。(評価項目が多いのと、達成されているものが多いので)
- ・ 「学校教育目標を知っている」評価が高く素晴らしいと思う。校長先生をはじめ職員の方々の日頃のご尽力の賜物と拝察します。
- ・ 根戸っ子の素直さとやさしさを改めて感じた1日となりました。(6年生を送る会を参観)
- ・ 根戸小の求められる人間関係づくり、体験学習を充実させていただきたいです。引き続き子どもたちのためによりしくお願いします。
- ・ 児童、保護者、教職員の評価に一致しているところがあり、学校経営がいきわたっていると思いました。課題面に対して、的確に取り組みよい方向に伸びていると思いました。

根戸小学校キャラクター「ねどっピー」

原画

